

## 部活動地域展開における現状と今後の方向性について

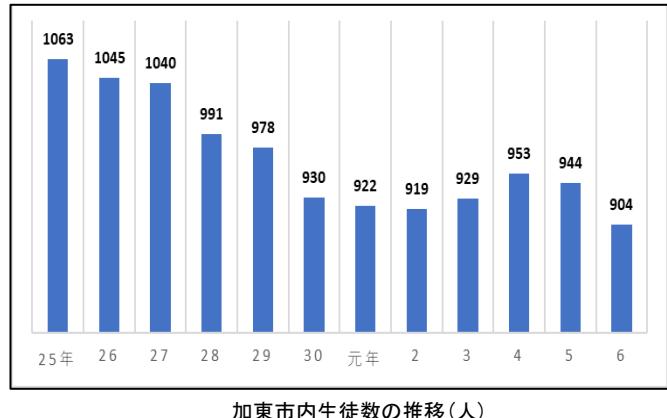
令和7年4月  
部活動改革推進室

### 1 加東市の学校部活動を取り巻く状況

近年、加東市内の中学校及び義務教育学校の部活動では、生徒数や競技人口の減少によって、学校単位での活動や大会参加が難しくなってきており、種目があり、合同でチームを組み、活動や大会に参加している状況があります。

また、教員の業務が多岐にわたり、超過勤務が顕著な現状から働き方改革が進み、大幅な残業時間の削減が求められています。

例) 野球(市内3校)、サッカー(市内2校)  
ソフトボール(市内1校+他市1校)



### 2 国・県・市の動き

国：「地域移行」としてきた名称を「地域展開」と変更

令和8年度から令和13年度までを「改革実行期間」として設定

県：「兵庫県部活動地域移行推進計画」を令和6年7月に策定

市：「部活動改革推進室」を設置(令和7年4月～)

目標スケジュール 令和9年総体後：休日におけるすべての学校部活動を地域展開

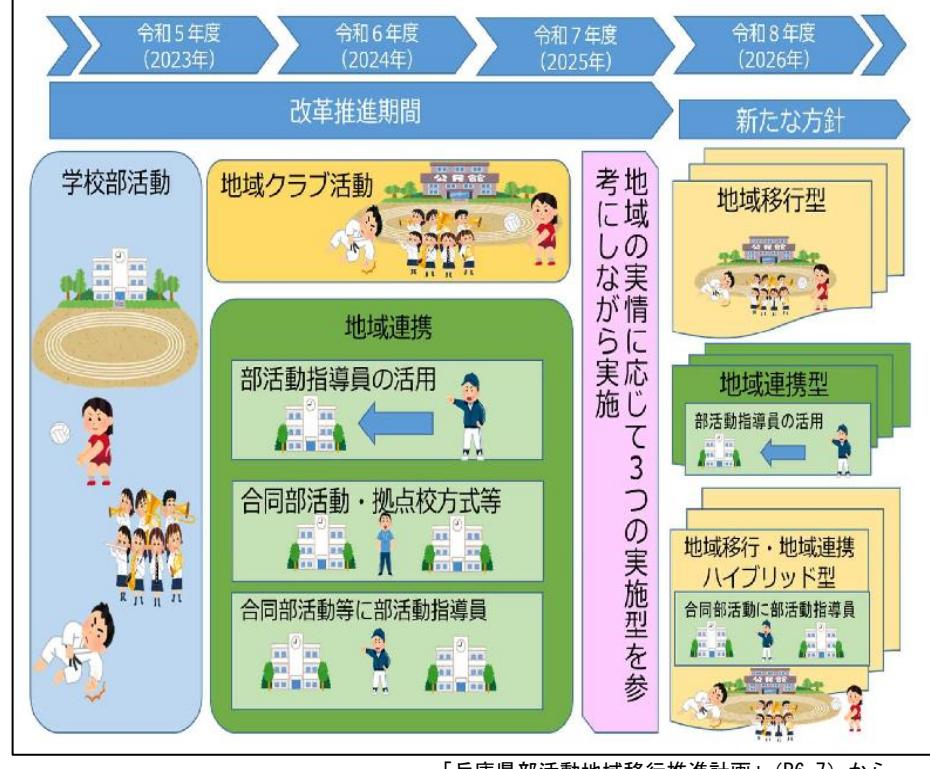
令和11年総体後：平日も含めたすべての学校部活動を地域展開

種目によっては活動拠点を集約するなど工夫をしながら、地域の活動としてより多くの指導者の下、活動に取り組むことができる環境を目指す。

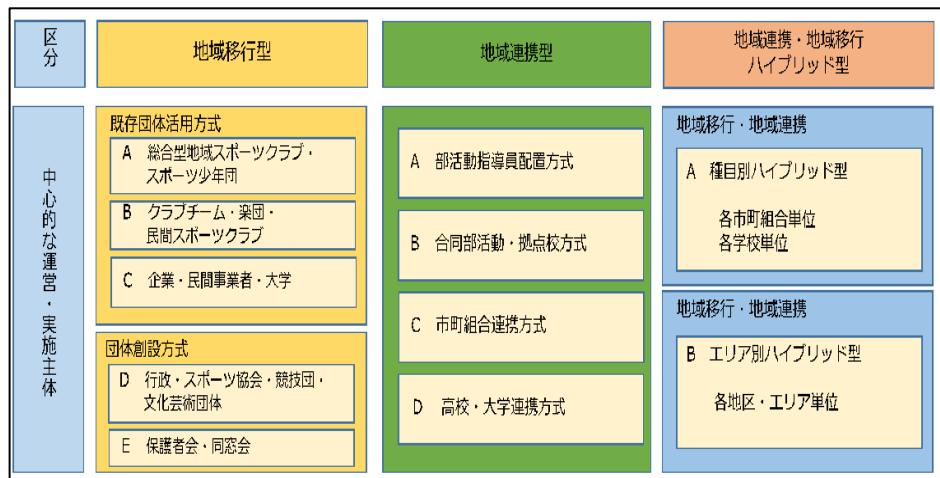
### 3 これまでの取組

検討委員会の設置(R5～)	指導者の増員	実証事業の実施
「加東市部活動あり方検討委員会」 委員：学識経験者 体育・スポーツ又は文化に関する団体の代表 （加東市文化連盟 加東市スポーツ協会 スポーツクラブ21加東市連絡協議会 加東市スポーツ少年団本部 加東市スポーツ推進委員会） 保護者の代表[加東市連合PTA] 学校関係者 [学校長代表1名、教員代表3名]	○部活動指導員 顧問と同様の業務が可能。 [R 6]18名→[R 7]21名  ○部活動外部指導者 技術指導が主。 [R 6] 2名→[R 7] 3名	【目的】 部活動指導員が、休日においてメインで指導を行った際に、どのような課題があるかを確認。  【実施校[市内3校]】 社学園中：剣道 滝野中：女子卓球 東条学園：ソフトテニス
今後に向けた課題		
・指導者の確保、質の向上 ・学校との連携 ・指導者・活動団体の登録 ・諸経費 ・施設の利用	・指導者の確保、質の向上 ・学校との連携	・指導者の確保 ・学校との連携 ・用具等の受け渡し ・欠席時の連絡 ・緊急時の対応及び連絡体制

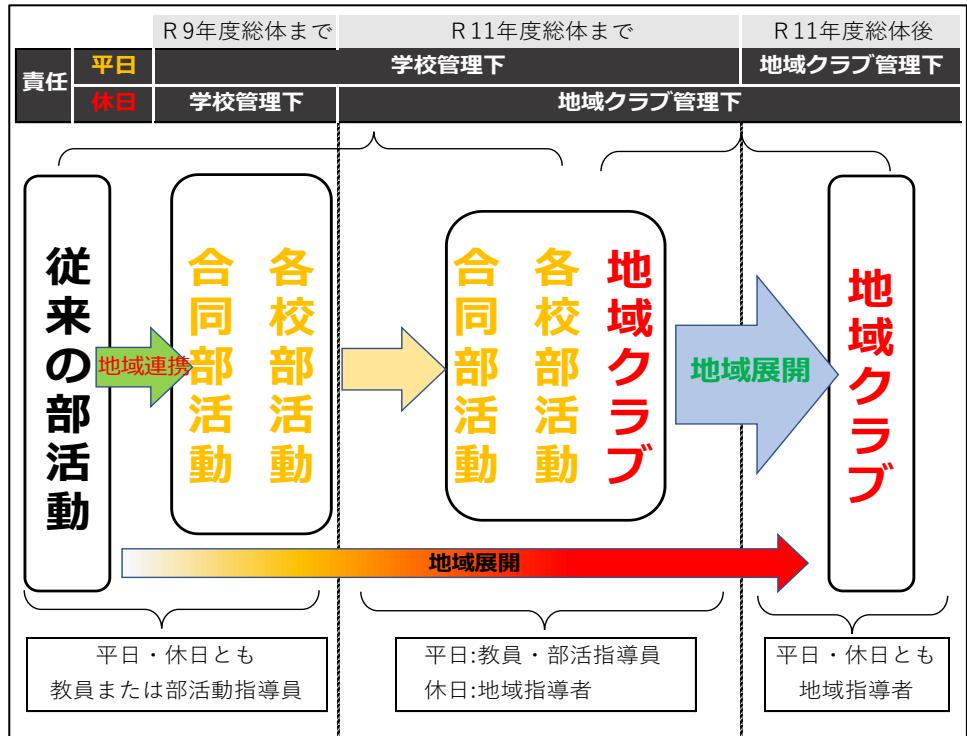
【図1】学校部活動の地域クラブ活動への地域移行・地域連携（イメージ）



【図2】学校部活動の地域移行のパターン図



【図3】加東市の部活動地域展開のスケジュール案



【図4】加東市の部活動地域展開のイメージ例

